

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	コンベンション誘致支援事業		担当部署	経済建設部 観光振興課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市コンベンション開催支援助 成金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	平成	12年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	4	にぎわいと交流の創出				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 コンベンション開催者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を行うものを対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることで市内への流入人口増大及び地域経済の活性化を図る。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	引き続き、新規コンベンションの誘致に努めるとともに、前年度に助成を行わなかった継続大会への助成を行う。持ち回り開催や継続的に開催されているスポーツ大会等への連絡を行うことにより、本市で定例的に開催されている大会の継続実施を促進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		コンベンション宿泊数	3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	新たなコンベンションの開催支援に努めるとともに、前年度に助成を行わなかった継続大会への助成を行った。持ち回り開催や継続的に開催されているスポーツ大会等への連絡を行うことにより、本市で定例的に開催されている大会の継続実施を促進した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 助成金交付件数	4	8	9	10	10	件
	2 コンベンション参加者数	3,210	2,649	5,000	5,000	5,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	コンベンション宿泊数	1,055	1,473	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		44.6	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		未達成		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	910	910
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	910	910
		決算額	0	0	0	0	410	410
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,464	1,874			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:コンベンション誘致支援事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	375	410	2,000	2,000	2,000
	うち一般財源	375	410	2,000	2,000	2,000
	人件費	1,447	1,464	1,464	1,464	1,464
	総事業費	1,822	1,874	3,464	3,464	3,464

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		継続大会を1年空けての助成とすることで、新規団体への助成が容易になった。
	効率性	B:概ね効率的だった		鳴門市観光コンベンション(株)と連携し、コンベンション主催者に対し資料提供を行うなど周知に努めている。
②成果に対する評価	指標名	コンベンション宿泊数		新たな団体によるコンベンションの開催もあり、昨年度より宿泊数は伸びたが、目標を達成することはできなかった。
	目標	3,300	人	
	実績	1,473	人	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		C		目標を達成することはできなかったが、前年度に比べ件数は伸びていることから、C評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コンベンション開催支援助成金交付要綱の改正を行い、令和元年度からコンベンション誘致の強化を図っていることから、各団体へのアプローチを積極的に行い、支援制度の周知や本市の魅力PRする必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	新規団体を呼び込むため、県内関係団体への周知のみならず、県外関係団体への周知にも努める。			
	R2年度	前年度の反省点等を踏まえ、事業内容の見直し・検討を行う。			